

## 第1回 震災復興有識者会議 議事録 要約版

話 題	内 容 (発言者 ※敬称略)
住 宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在するサービスを集約し、町の核となる拠点の再構築が必要。(石井)</li> <li>・機能の集約はすべきだが、暮らしの集約は難しいと思う。(石井)</li> <li>・農業や漁業は、住む場所と職の場が離れるのは難しい。(吉川)</li> <li>・農家と農地を一緒にした住宅再建が必要。(広田)</li> <li>・借金をする余力のないお年寄りのための対策として、公営住宅の払い下げなど複数の選択肢をつくるべき。(広田)</li> <li>・利便性のための集約ではなく、もともとの居住地への思いも大事にすべき。(広田)</li> </ul>
防 災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤、防潮林、避難路の確保が大事。(三部)</li> <li>・避難階段を外に設けた防災避難ビルを建てる案もある。(三部)</li> <li>・堤防などのハード面だけでなく、総合的な防災対策が必要。災害時の情報提供や、全員避難を想定した資材の備蓄、保健などについてのバックアップがあるとよい。(三部)</li> </ul>
交 通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 常磐線のルート変更と通勤快速の実施などが進めばよい。(清野)</li> </ul>
産 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、漁業の再建には、過去の償還金による2重債務や、排水といったインフラの整備など、課題がとても多い。(広田)</li> <li>・農協がハウス等を含めて農業設備をフルセットで貸し出すなどしないと、農業設備の再建は難しい状態にある。(広田)</li> </ul>
教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの心のケアを、学校のカリキュラムに盛り込んで進めていけたらよい。(吉川)</li> </ul>
医 療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も高齢者やハンデを持った方へのケアが必要。(吉川)</li> <li>・住民と医療、保健、福祉を含めた協力体制ができるとよい。(清野)</li> <li>・町内医療・介護施設で、今後の医療の拠点を考えていくべき。(清野)</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在するサービスをうまく集約すべき。(石井)</li> <li>・サービスの集約化と住まいの場は別に考えてもいいのではないかと。(石井)</li> <li>・国道6号線の西側を中心としたコンパクトシティの考え方が必要ではないかと。(清野)</li> <li>・復旧のプラスαになるものが必要。(清野)</li> <li>・コンパクトなまちづくりに向けて、都市計画や土地利用、中心市街地のあり方について、アドバイスをいただきたい。(齋藤町長)</li> </ul>
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳を取ってからもコミュニティの中で暮らしながら、楽しく買い物できるような地元商店街の集合体があるとよい。(吉川)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな立場の方が集まる場をつくり、住民の声を拾い、地域コミュニティ主体の復興になるとよい。(広田)</li> </ul>
復興全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に弱い立場の方々の意見を拾い上げて、色々な意見の折り合いをつける必要がある。(石井)</li> <li>・生活者が主体となり、どんな生活がよいのか考えることが重要。(吉川)</li> <li>・女性の知恵を復興に生かすべき。(吉川)</li> <li>・住む人がどういう思いでいるのか、どういう暮らしをしたいのかが重要。「こうあるべき」というものは無い。(石井)</li> <li>・今いる人が立ち上がらなければならない。(広田)</li> <li>・復興によって、地域のこれまでの課題を解決していくことが必要。(広田)</li> <li>・行政コストの面からもよりコンパクトで都市計画を重視した復興を目指したい。(齋藤町長)</li> </ul>